

速報データにより今後修正される可能性があります。

平成23年台風12号に伴う富士川砂防事務所管内の被災状況

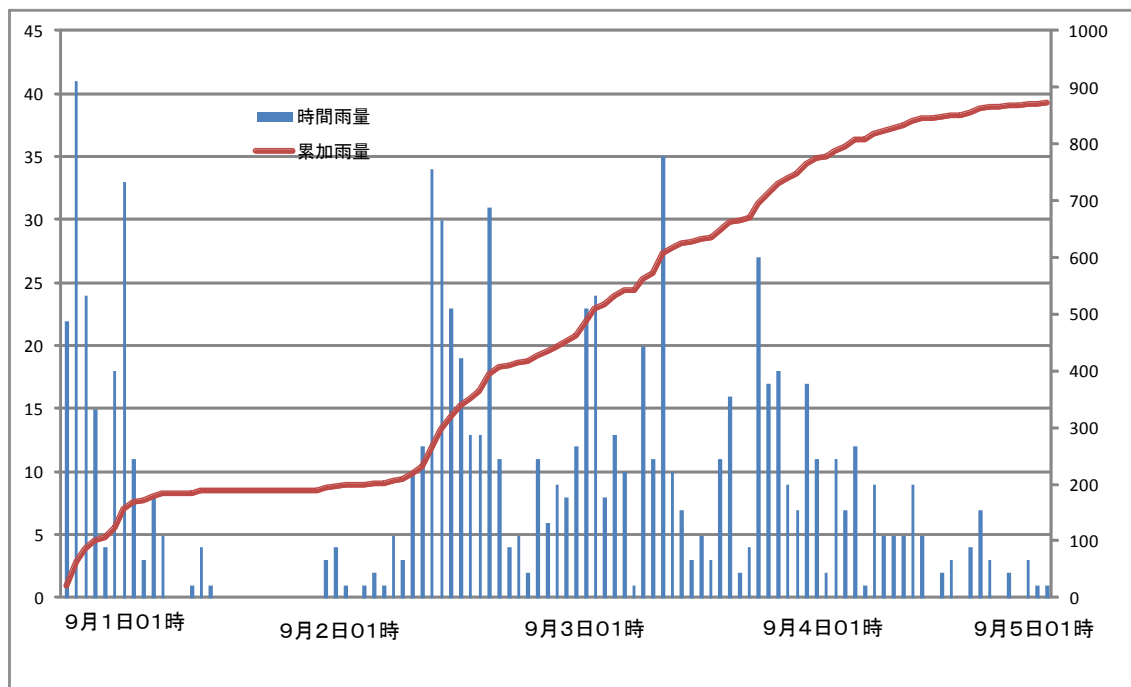


山梨県早川町羽衣地区の土砂崩落状況（9月4日11時頃撮影）

平成23年9月5日17時現在

国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所

○降雨状況



降雨状況（春木川雨量観測所データ）

富士川砂防管内では連続雨量1226mmに達する降雨が観測されました。

- ・七面山雨量観測所 連続雨量 1226mm 時間最大 47mm/h
- ・春木川雨量観測所 連続雨量 900mm 時間最大 41mm/h
- ・早川雨量観測所 連続雨量 885mm 時間最大 44mm/h
- ・奈良田雨量観測所 連続雨量 581mm 時間最大 31mm/h
- ・青木雨量観測所 連続雨量 462mm 時間最大 49mm/h
- ・日向山雨量観測所 連続雨量 304mm 時間最大 19mm/h
- ・入笠雨量観測所 連続雨量 265mm 時間最大 15mm/h

（9月5日17時現在）

○支部設置状況

09月01日 16:00 注意体制に入る

平成23年8月31日20時より降り出した雨は、平成23年9月1日16時00分現在で春木川雨量観測所で実効雨量が220mmとなり、警戒雨量207.2mmに達した。

このため土砂災害発生の恐れがあることから風水害対策富士川砂防支部は、注意体制に入った。

09月02日 15:00 警戒体制に入る

平成23年8月31日20時より降り出した雨は、平成23年9月2日14時50分現在で春木川雨量観測所で実効雨量が289mmとなり、避難雨量227.0mmを超えた。

このため土砂災害発生の恐れがあることから風水害対策富士川砂防支部は、警戒体制に入った。

09月05日 16:00 注意体制に移行する

管内に強い雨域が無くなり、土砂災害警戒情報も解除されたことから、風水害対策富士川砂防支部は、平成23年9月5日16時00分に警戒体制から注意体制に移行した。

○管内の主な被災状況

- ・早川町羽衣地区の土砂災害

9月3日

早川町羽衣地区の池の沢堰堤付近で町道に土砂が押し出しているとの情報が入る。通行不能となっている事が確認される。

池の沢堰堤：国管理

池の沢堰堤下流の流路工：県管理

被害状況：駐車中の乗用車が流出（台数は調査中）

付近の宿泊客、宿の従業員は宿に待避（宿泊客、従業員計295人）

押し出された土砂は地元消防団が監視

9月4日

宿泊客は対岸の町道を利用し、消防団、町職員に安全確保の監視を受けながらタクシーにより避難。11:00頃避難完了。

事務所の対応：町道の土砂撤去について早川町に協力し作業中。

- ・上記の外、県道、町道に土砂の流入多数。（詳細確認中）

○管内の荒廃状況調査

- ・9月5日、職員による調査開始。
- ・9月7日にヘリコプターにより管内全域の荒廃状況を調査実施予定。

○その他の被災状況（事務所職員撮影）



早川町保地区 唐沢堰堤付近の県道被災状況（9月4日6時頃）



早川町草塩付近の県道被災状況（9月3日13時頃）



早川町雨畑地区の県道（奥沢橋）の土砂堆積状況（9月5日11時頃）



早川町雨畑地区の町道の被災状況（9月5日11時頃）